

# 平成25年度 西宮市防災会議 議案書

- .【報告第1号】西宮市防災会議条例の改正及び委員の追加について
- .【報告第2号】平成24年度防災・水防活動報告
- .【報告第3号】東日本大震災への対応
- .【議案第1号】平成25年度地域防災計画及び水防計画 修正(案)
- .【議案第2号】東南海・南海地震対策(案)
- .【報告第4号】平成25年度防災関係業務・行事一覧

【報告第1号】

. 西宮市防災会議条例の改正及び委員の追加について

# 西宮市防災会議条例の改正及び委員の追加について

## 1. 西宮市防災会議条例の一部改正について

西宮市防災会議条例（昭和38年西宮市条例第9号）の一部を下記のとおり改正する。

### 記

#### （1）改正の理由

災害対策基本法の一部が改正されたことに伴い、防災会議条例の所掌事務並びに防災会議委員の構成について、標記条例の一部改正を行う。

#### （2）改正内容

条	項目	改正理由	改正前	改正後
2	所掌事務	災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議条例中の防災会議の所掌事務を改正するもの。	（所掌事務） 第2条 (3) 西宮市の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害に関する情報を収集すること。	（所掌事務） 第2条 (3) 市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する <u>重要事項を審議</u> すること。 (4) 前号に規定する重要事項に関し、 <u>市長に意見を述べる</u> こと。
3	組織	災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議条例中の防災会議委員の構成を改正するもの。	（組織） 第3条 5 (10) その他市長が必要と認める者  6 前項の委員の任期は、その職にある期間とする。	（組織） 第3条 5 (10) <u>自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから市長が委嘱する者</u> (11) その他市長が必要と認める者  6 前項（第10号を除く。）の委員の任期はその職にある期間とし、同号の委員の任期は2年とする。

#### （3）施行日

平成24年12月28日

## 2. 委員の追加について

### （1）追加する委員

氏名：石川 永子（人と防災未来センター主任研究員）

理由：広く防災対策についての見識を持っており、女性としての意見も生かすことができるため

## 平成24年度防災・水防活動報告

1. 防災会議 幹事会の開催
2. 防災会議の開催
3. 阪神間防災・防犯連絡会(国民保護含む)の実施
4. 防災・水防活動状況
5. 訓練の実施(市主催)
6. 災害時応援協定
7. 防災パトロール活動
8. 啓発活動
9. その他

### 1. 防災会議 幹事会の開催

日 時： H24.5.17(木) 13:30~14:10  
場 所： 西宮市役所 東館8階 大ホール  
議 題： 平成24年度 地域防災計画及び水防計画の修正に伴う審議ほか  
審議結果： 原案のとおり、防災会議に提案することを承認される。

### 2. 防災会議の開催

日 時： H24.6.8(金) 13:30~14:30  
場 所： 西宮市役所 東館8階 大ホール  
議 題： 平成24年度 地域防災計画及び水防計画の修正に伴う審議ほか  
傍聴者： 0名  
審議結果： 原案どおり承認のうえ決定される。  
ただし、以下のような意見が提起された。

ア 西宮市社会福祉協議会

- ・福祉センターの津波避難ビル指定について、収容人数について再協議願いたい

イ 西宮市民生委員・児童委員会

- ・要援護者避難支援において、上階への避難について良い案はないか

事務局回答：

- ・支援体制の充実により人手を確保し搬送を補助してもらうのも一案である

西宮警察署回答：

- ・竿やロープを備えておき、簡易担架を作るのも良い

ウ 西宮市民生委員・児童委員会

- ・消防団の災害時の活動実態と日頃の地域との関わりは如何

西宮市消防局回答

- ・第一に消火、第二に人命救助、余力があれば避難誘導等を行う。日頃は自主防災会、消防団、消防署ともに連携を図っていく必要がある

### 3. 阪神間防災・防犯連絡会(国民保護含む)の実施

#### (1) 第1回

日 時： H24.5.25(金) 15:00~17:40  
場 所： 東館8階 801,802 会議室  
参加機関： 芦屋市、尼崎市、伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、猪名川町  
議 題： 以下のとおり

ア 同報系防災行政無線  
イ 新たな情報発信ツール  
ウ 学校防災教育

#### (2) 第2回

日 時： H24.11.9(金) 15:00~17:30  
場 所： 猪名川町庁舎 2階会議室  
参加機関： 芦屋市、尼崎市、伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、猪名川町  
議 題： 以下のとおり

ア 災害情報システム  
イ 災害時要援護者支援対策  
ウ 避難所  
エ 地域防災計画の見直し

- オ 防災担当部局の構成
- カ 防災訓練の状況
- キ 避難情報の基準
- ク 土砂災害警戒区域内の避難所の扱い

#### 4. 防災・水防活動状況

##### (1) 警報・注意報

- ・警報の発表 25回(大雨 9,洪水 9,暴風 3,波浪 3,高潮 1)
- ・注意報の発表 423回(大雨 57,洪水 56,強風 63,波浪 63,高潮 10,濃霧 18  
霜 11,乾燥 43,低温 6,風雪 1,雷 95)

##### (2) 災害応急体制の設置

- 連絡員待機(防災危機管理局) 8回(H24.4.3、H24.6.16、H24.6.21~22、H24.7.6~7、H24.7.21、  
H24.8.14、H24.8.18、H24.10.12)
- 災害応急対策室(応急対策指令) 2回(H24.6.19、H24.9.30)

##### (3) 災害等対応一覧及び各災害等報告 10件

発生日時	災害等件名	災害等概要
H24.4.3	暴風・波浪警報	苦楽園小学校で最大時間雨量 41.0mm。甲陵中学校で連続雨量 64.5mm を観測。武庫川右岸通行止め。路面冠水 12 箇所、倒木 3 件。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.6.16	大雨・洪水警報等	鳴尾支所で最大時間雨量 37.5mm。特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.6.19	大雨・洪水警報及び台風 4 号	市内全域で連続雨量 14~40mm を観測、最大潮位 O.P.+240 cm を観測。防潮門扉 No21、22、35、54 を閉鎖。御前浜橋通行止め。 <b>連絡員待機</b> から <b>災害応急対策室(応急対策指令)</b> に移行し対応。
H24.6.21~6.22	大雨・洪水警報	鳴尾浜浄化センターで最大時間雨量 122mm。特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.7.6~7.7	大雨・洪水警報	鳴尾浜浄化センターで最大時間雨量 98mm。特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.7.21	大雨・洪水警報	特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.8.14	大雨・洪水警報	鳴尾浜浄化センターで最大時間雨量 17.5mm。特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.8.18	大雨・洪水警報	鳴尾浜浄化センターで最大時間雨量 17.5mm。市内約 2,100 軒で停電。 <b>連絡員待機</b> にて対応。
H24.9.30	暴風・波浪警報及び台風 17 号	有馬川で最大時間雨量 98mm。最大潮位 O.P.+145 cm を観測。防潮門扉 No21、54 を閉鎖。市野瀬有馬線片側通行規制。倒木 10 件。 <b>連絡員待機</b> から <b>災害応急対策室(応急対策指令)</b> に移行し対応。
H24.10.17	大雨・洪水警報	甲山で最大時間雨量 47mm。特に被害無し。 <b>連絡員待機</b> にて対応。

## 5. 訓練の実施（市災対主催）

### （1）緊急情報伝達訓練

目的：有事の際に、職員への迅速かつ正確な情報伝達が行なえるように、併せて職員の危機管理意識の向上のため。

日時：H24.5.11(金) 10:00～12:00

対象者：災害対策本部に所属する全職員（2,338名）

実施方法：緊急連絡網による電話連絡  
緊急参集システムによるeメール配信

実施結果：参加人数

伝達時間30分以内の人数……………2,202（伝達率約94%）

伝達時間1時間以内の人数……………2,240（伝達率約96%）

伝達時間2時間以内の人数……………2,250（伝達率約96%）

### （2）水防工法訓練

目的：雨季を迎えるにあたり、災害の発生が予測されるため、これに対応する水防工法訓練を実施し、災害発生において円滑な防災活動が実施できるよう技術の向上を図り、被害の軽減に資することを目的とする。

日時：H24.5.23(水) 10:00～12:00

場所：甲子園浜海浜公園（甲子園浜1丁目）

参加者：都市局13名、土木局10名

訓練概要：土のう作成、三段積み土のう工法、せき板工法、資器材取扱訓練

### （3）災害応急対策室設置訓練

目的：応急対策室の円滑な災害応急活動が実施できるよう設置訓練を実施する。また、関係機関が実施する災害応急活動について相互に理解を深めることにより、より迅速かつ的確な災害応急体制の強化を図る。

日時：H24.5.30(水) 14:00～15:00

場所：本庁舎681会議室

参加者：防災危機管理局、都市局、土木局、環境局

実施内容：図上演習

### （4）にしのみや津波ひなん訓練

目的：市民一人ひとりが津波から逃げる際の携行品やルートの選択、さらに津波避難ビルの確認など具体的な避難の方法を身につけるとともに（「自助」）、地域として災害時要援護者の支援方法を確認するなど（「共助」）、市全体として防災・減災意識の高揚と具体的な避難行動を身につけることを目的とする。

日時：H25.1.27(日) 10:00～12:00

訓練内容：（1）津波避難訓練

ア．JR神戸線より北への避難訓練

イ．津波避難ビルへの避難訓練

ウ．福祉施設・病院における避難者受入れ訓練及び避難者と連携した利用者搬送訓練

（2）地震発生時の一斉安全行動訓練（シェイクアウト訓練）

（3）津波情報伝達訓練

（4）防潮門扉閉鎖訓練

（5）ゴール地点での防災・減災啓発

訓練機関：（1）本市動員数

ア．津波避難訓練実施本部員（市長、教育長、水道事業管理者、防災危機管理監、副市長、各局長）……22名

イ．津波避難訓練運営本部員（防災危機管理局、広報課）……32名

ウ．津波避難訓練プロジェクトチーム・・・59名

エ．各局より動員職員・・・813名

合計 926名

(2)関係機関数

33機関

訓練参加者：(1)シェイクアウト訓練登録者数 11,400人

(2)JR神戸線より北への訓練参加者数 12,200人

(3)津波避難ビルへの訓練参加者数 22,700人

延べ参加者数 46,300人

(5)福祉施設などを対象とした訓練(平日訓練)

目的：学校、福祉施設等を対象に平日に津波が発生した想定で津波発生時における具体的行動の確認・検証、担当施設の被害状況点検を行い、災害対応能力の向上及び応急対策活動上の問題点・課題を把握するため事を目的とする。

日時：平成24年中に適宜実施

実施回数：161回

参加者：66施設 22,591名

(6)地域防災力強化訓練

事業の概要：

自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって行う水害想定を中心とした避難訓練を支援することにより、水害時の防災力強化を図るとともに、地域住民の結束力で地域を守る防災・減災意識の向上を目指すことを目的とする「地域防災力強化訓練補助事業」が兵庫県で行なわれており、各小中学校にて水害想定でかつ、災害時要援護者支援に対応した訓練に加え、参加される地域の方がそれぞれ役割を持って訓練を実施。

延べ参加者数：6,154人

延べ参加学校数：7校

学校別事業内容

NO.	学校名	日時	参加者数	内容
1	西宮浜小学校 西宮浜中学校	H24.6.30 (土)	1,000	水害・津波・地震発生を想定し、西宮浜地域の住民と企業・学校が合同で災害時要援護者の支援を行いながら避難誘導訓練を実施しました。その後、小学校内で、消火訓練やAED取扱い訓練等を実施しました。
2	神原小学校	H25.1.15 (火)	500	震度7強の地震発生という設定で、地域住民等と合同で、災害時要援護者の支援を行いながら避難訓練を実施しました。また、水害を想定し土嚢を積む訓練も実施しました。その後、震災記念公園にて地域の方から防災のお話を聞いた後、炊き出し訓練を実施しました。
3	小松小学校	H25.1.15 (火)	900	地震による被害が大きく、校舎への避難が困難という想定で地域の津波避難ビルへ避難する訓練を実施しました。その際、自主防災会の方々とともに災害時要援護者の避難支援を行いながらビルへ避難しました。
4	南甲子園小学校	H25.1.18 (金)	1,318	地震・津波を想定し、地域住民と合同で、高所避難訓練を実施した。その際、災害時要援護者についても皆さんの協力のもと避難誘導訓練を実施した。
5	北夙川小学校	H25.1.20 (日)	1,600	「わすれない あの日を！そなえよう 越木岩！」というテーマのもと地震を想定し、地域の自主防災会や、企業と合同で訓練を実施した。その際、災害時要援護者の避難支援も行った。また水害を想定し、土嚢を積む訓練も行った。



6	甲子園浜小学校	H25.2.13 (水)	836	東海地震発生の後、津波警報が発令されたという設定で訓練を実施した。地域住民とともに災害時要援護者の支援を行いながら、近くの津波避難ビルへ避難した。
---	---------	-----------------	-----	---

(7) 危機事案等対応訓練・研修

目的：市では災害や危機事案に備えるため、地域防災計画の見直し、職員行動マニュアルの作成、危機管理計画や各局で危機管理マニュアルの作成などの対策に取り組んできました。しかしながら、地域防災計画、職員行動マニュアル、危機管理計画、危機管理マニュアルなどを広く全職員がその内容を把握しているとは言えず、職員の危機事案等の対応に対する意識がまだまだ低いことも事実です。そこで、各局等において、職員が危機事案等対応に携わる機会をつくり、緊急時の対応と意識向上を図ることを目的とする。

日時：原則、H25.1.17(木)～H25.2.8(金)

対象者：西宮市地域防災計画に定める各災対局

実施内容：下表参照

局名	内容	日時	参加者
災対企画局 (政策局)	<b>派遣研修</b> 阪神・淡路大震災記念館 防災未来センター	H25.1.17(木) ～1.29(火)	11名
	<b>全体会議</b> 派遣研修の復命 防災意識の共有	H25.1.30(水)	23名(課長級以上+上記研修参加者)
災対総務局 (総務局)	税務部 <b>家屋等調査担当部研修</b> 被災家屋認定士の資格を持つ職員によるシミュレーション	H25.1.10(木)	36名
		<b>被災者支援システム操作研修</b> 被災者支援システムの概要 被災者支援システムの操作研修	H25.1.15(火) ～1.16(水)
	<b>津波避難対応研修</b> 避難の重要性・BCP 自助・共助・公助	H25.2.8(金)	21名
災対市民局 (市民局)	<b>災害時想定テスト・アンケート</b> 職員行動マニュアル マニュアル想定外の事態 阪神淡路大震災での経験 大震災の対応等の検証	H25.1.17(木) ～2.4(月)	126名(全職員)
	<b>災害時想定検討会議</b> 集約結果報告会	H25.2.4(月)	
災対物資担当局 (産業文化局)	<b>備蓄倉庫確認</b> 津門中央公園防災備蓄倉庫の確認	H25.1.7(月) ～2.8(金)	15名(課長級以上)
災対物資担当局 (産業文化局)	<b>研修会</b> 職員行動マニュアル	H25.1.24(木)	15名(課長級以上)
災対福祉局 (健康福祉局)	合同で 実施 <b>図上訓練</b> 要援護者対策検討 情報伝達	H25.1.24(木)	30名(部長級以上)
災対保健医療局 (保健所)			

災対衛生局 (環境局)	<b>研修会</b> 南三陸町・女川町の支援報告、地域防災計画・職員行動マニュアルの周知		H25.1.25(金)	23名(課長級以上)
	<b>研修会の総括</b> 職員への伝達 地域防災計画・職員行動マニュアルの周知		H25.1.28(月) ~2.8(金)	372名(全職員)
災対第一技術局 (都市局)	<b>研修会</b> 阪神淡路大震災・東日本大震災について		H25.1.21(月)・1.28(月)	49名
災対第二技術局 (土木局)	総括室	<b>問合せ窓口設置訓練</b> 災害時における市民窓口の業務についてのシミュレーション	H25.1.17(木)	11名(室長+各課長+各課2~3名)
	下水道部	<b>津波対応訓練</b> 各ゲートの操作 津波避難ビルへの避難訓練	H25.2.19(火)	20名(職員+運転維持管理業者)
	道路部	<b>防潮施設操作訓練</b> 前浜町・西波止町門扉	H25.1.17(木)	11名
災対病院局 (中央病院)	<b>中央病院災害対策訓練</b> 対策本部設置 患者受入訓練		H25.2.6(水)	約50名
災対給水局 (水道局)	<b>計画停電マニュアルの策定</b> マニュアルの策定と職員への周知		H24.6.5(火) ~6.29(金)	全職員
災対避難局 (教育委員会他)	<b>各課研修</b> 南海トラフ巨大地震を想定した、地震対応訓練・研修などを各課で計画		H25.1.17(木) ~2.8(金)	全職員
災対議会担当局 (議会事務局)	<b>西宮市議会災害対策支援本部設置訓練</b> 安否確認 連絡体制の確認		H25.1.27(日)	市議会議員40名 議長、副議長、局長、課長ほか
災対会計局 (会計室)	<b>各人の役割確認</b> 津波発生時の対応や組織についての意見交換会		H25.1.17(木)	全職員

#### (8) 人命救助研修

目的：平成10年度から、震度6弱以上の地震が発生したとき、災害対策本部にて人命救助隊の編成予定のため、各職員において基礎的な知識の修得や実技演習を通じ、実践への備えとすることを目的としている。

日時：H25.3.4(月)~5(火) 13:30~17:00

場所：東館8階大ホール、六湛寺公園及びその周辺

対象者：平成23・24年度入所職員 96人

実施内容：講話、救出要領、応急手当要領

(9) その他訓練・演習

- H24.4. 9(月) 災害時における情報伝達体制の配信テスト : 県災害対策課  
H24.5.14(月)~15(火) 水防情報伝達演習 : 県西宮土木事務所  
武庫川排水ポンプ運転状況伝達演習 : 県西宮土木事務所  
青野ダム管理演習 : 県宝塚土木事務所  
H24.8. 6(月) 災害時における情報伝達体制の配信テスト : 県災害対策課  
H24.12.3(月) 災害時における情報伝達体制の配信テスト : 県災害対策課

6. 災害時応援協定 締結式の実施

日 時: H24.10.5(金)

会 場: 本庁舎特別会議室

協定内容: 「災害時における要援護者の緊急受け入れに関する協定書」

相手方: 社会福祉法人 明石恵泉福祉会 理事長 藤本 眞美子  
社会福祉法人 尼崎武庫川園 理事長 池田 洋  
社会福祉法人 ウエルライフ 理事長 木曾 賢造  
社会福祉法人 円勝会 理事長 西川 光明  
社会福祉法人 甲山福祉センター 理事長 村田 良輔  
社会福祉法人 兼誠福祉会 理事長 杉安 謙一郎  
社会福祉法人 高明会 理事長 渡邊 高  
社会福祉法人 慈仁会 理事長 石津 元康  
社会福祉法人 聖徳園 理事長 三上 了道  
社会福祉法人 豊中ファミリー 理事長 奥田 修三  
社会福祉法人 阪神福祉事業団 理事長 稲村 和美  
社会福祉法人 真心幸泉会 理事長 村山 康彦  
社会福祉法人 緑峯会 理事長 北嶋 勇志 (13法人 16特養)

日 時: H24.11.28(水)

会 場: 本庁舎 442 会議室

協定内容: 「災害時における救援物資の確保に関する協定」

相手方: セッツカートン株式会社 代表取締役社長 岩本 英昭

日 時: H24.12.23(日)

会 場: 東部総合処理センター

協定内容: 「災害時における救援物資の確保に関する協定」

相手方: JFEエンジニアリング株式会社 大阪支店長 児玉 敏裕

7. 防災パトロール活動

- H24.5.22(火) 宅地防災パトロール : 開発審査課  
H24.6.25(月) 防潮扉門 夜間パトロール : 災害対策課  
H24.6.25(月) 防災合同(治山)パトロール : 県六甲治山事務所  
H24.6.26(火) 防災合同(急傾斜地)パトロール : 県西宮土木事務所  
H24.6.28(木) 防災(防潮扉門)パトロール : 県尼崎港管理事務所  
H24.7.26(火) 採石パトロール : 県西宮土木事務所

## 8. 啓発活動

### (1) 市政ニュース 特集記事

5月25日号 「6月は土砂災害防止月間」

8月25日号 「迅速・正確に情報取得 災害発生時、さまざまな手段の活用を」  
「本格的なシーズン到来 台風に注意しましょう」

1月1日号 「にしのみや津波ひなん訓練」

### (2) 土砂災害防止月間【H24.6.1(金)~6.30(土)】

市政ニュースに特集記事を掲載(5月25日号)

プレラにしのみや(男女協働参画センター)でパネル展：六甲砂防事務所 6.3(日)~16(土)

### (3) 防災講演会

日時： H24.9.9(日) 10:00~12:30

会場： 兵庫医科大学 平成記念会館

演題：【想定を超える災害にどう備えるか~大津波から生き抜いた釜石市の子どもたち、その防災教育に学ぶ】

講師： 片田 敏孝 氏(群馬大学大学院工学研究科 教授)

参加者数： 550名(一般市民・自主防災会・教員・消防団・阪神南県民局・西宮市職員他)

日時： H25.2.16(土) 10:00~11:50

会場： 兵庫医科大学 平成記念会館

演題：【南海トラフ巨大地震と西宮の地震防災】

講師： 河田 恵昭 氏(関西大学教授・社会安全研究センター長)

参加者数： 550名(一般市民・自主防災会・消防団・阪神南県民局・地盤工学会・西宮市職員他)

### (4) 自主防災組織訓練への参加について

日時	団体名・参加者数	場所	内容
H24.4.15(日) 13:30~15:30	安井地区自主防災会 90名	安井小学校	・情報伝達・避難誘導・AED取扱説明 ・救出救護・バケツル・可搬式ポンプ
H24.5.27(日) 9:30~11:00	鳴尾地区消防団 10名	旧高須東小学校	・救出救護・避難誘導・情報伝達 ・放水訓練・消火器
H24.6.30(土) 10:00~12:00	西宮マリナパークシティ 協議会 200名	西宮浜小学校他	・防災行政無線・避難誘導・情報伝達 ・放水訓練・消火器・AED取扱説明
H24.8.27(月) 10:30~11:30	光明幼稚園 430名	光明幼稚園他	・情報伝達・避難誘導
H24.10.21(日) 10:00~11:30	森具地区3町合同自主防 災会 157名	森具公園他	・避難誘導・情報伝達・可搬式ポンプ等
H24.10.27(土) 10:00~12:00	上ヶ原七番町新1・2号棟 自主防災会 30名	住宅敷地内	・避難誘導・情報伝達 ・救出救護・消火器
H24.11.4(日) 10:00~11:00	船坂地区自主防災会 130名	旧船坂小学校他	・防災行政無線・避難誘導・情報伝達 ・救出救護・炊き出し・可搬式ポンプ等
H24.11.8(木) 9:45~10:30	今津南保育所 60名	今津南保育所他	・避難誘導・情報伝達
H24.11.18(日) 10:00~10:45	鳴尾町1丁目自治会 169名	本郷公園	・避難誘導・情報伝達

H24.11.18(日) 10:00~12:00	東山台地区連合防災会 80名	東山台小学校	・防災行政無線・避難誘導・情報伝達 ・救出救護・消火器・バケツリレー
H24.11.25(日) 9:00~11:00	名塩茶園町自主防災会 82名	茶園場公園他	・防災行政無線・避難誘導・情報伝達 ・救命訓練・消火訓練・AED取扱説明
H24.12.1(土) 9:30~11:30	津門地区自主防災会 320名	津門小学校他	・防災行政無線・避難誘導・情報伝達 ・救出救護・バケツリレー・消火器等
H24.12.2(日) 10:00~11:00	芦原地区自主防災会 40名	総合教育センター	・避難誘導・救出救護・炊き出し ・消火器
H24.12.4(火) 10:00~10:40	市営甲子園九番町住宅管理運営委員会 100名	住宅敷地内	・避難誘導・情報伝達
H25.2.13(水) 13:30~14:30	甲子園浜小学校 800名	ロイヤルパーク甲子園ホール他	・高所避難

\* 消防に係る訓練については消防主導  
 延べ回数 15回  
 延べ参加者数 2,698名

(4) 平成24年度にしのみや防災リーダー研修

日時	団体名・参加人員	場所	講師・内容
H25.3.16(土) 13:00~16:00	地域の自主防災会 27防災会28名	職員会館 3階ホール	人と防災未来センター 主任研究員 宇田川 真之氏
H25.3.23(土) 13:00~16:00	地域の自主防災会 18防災会18名	同上	「豪雨災害に対する住民避難とハザードマップ」 講義、ワークショップ

計 45 防災会 46 名

(5) 災害ボランティア活動の普及

NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワークとの協働事業(委託)

延べ開催数 : 15回

市民協働防災啓発企画

実施日	内容	場所・参加者等	摘要
H24.6.17(日) 13:30~16:30	「小松地区防災マップ作成会(災害図上訓練)」	場 所:小松センター (3F 集会室) 参加者:27名(内スタッフ2名) 対 象:小松校区自主防災会	参加者が5グループに分かれ、武庫川氾濫による水害を想定した防災マップ作成のための災害図上訓練を実施した。
H24.7.8(日) 10:00~12:00	「小松地区防災マップ作成会(まち歩き作戦会議)」	場 所:小松センター (3F 集会室) 参加者:27名(内スタッフ2名) 対 象:小松校区自主防災会	前回の災害図上訓練で得られた情報の点検や新たな情報収集を行なうことを目的とした「まち歩き」を実施するため、方法等の説明を実施した。
H24.9.19(水) 9:30~12:00	「小松地区防災マップ検証会」 (ワークショップ)	場 所:小松センター (3F 集会室) 参加者:25名(内スタッフ4名) 対 象:小松校区自主防災会	図上訓練とまち歩きで作成された地域の防災マップを、ワークショップ方式で再検証し、避難路や情報伝達手段など防災マップに記載する内容を検討した。
H24.11.3(土) 9:00~12:00	「高須地区防災マップ作成会(災害図上訓練)」	場 所:武庫川団地7号棟 (集会室) 参加者:19名(内スタッフ3名) 対 象:高須地区自主防災会	参加者が5グループに分かれ、津波による水害を想定した防災マップ作成のための災害図上訓練を実施した。

H24.11.30(金) 19:00～21:00	「高須地区防災マップ作成会(まち歩き作戦会議)」	場 所:高須コミュニティプラザ 参加者:18名(内スタッフ3名) 対 象:高須地区自主防災会	前回の災害図上訓練で得られた情報の点検や新たな情報収集を行なうことを目的とした「まち歩き」を実施するため、方法等の説明を実施した。
H25.2.9(土) H25.3.6(水) H25.3.20(水)	「高須地区防災マップ検証会」 (ワークショップ)	場所:高須コミュニティプラザ 参加者:13名(内スタッフ3名) 対象:高須地区自主防災会	図上訓練とまち歩きで作成された地域の防災マップを、ワークショップ方式で再検証し、避難路や情報伝達手段など防災マップに記載する内容を検討した。

### 市民向け防災啓発・体験学習企画

実施日	内容	場所・参加者等	摘要
H24.8.7(火) ～ H24.8.8(水)	「西宮キャンプ交流会」	場 所:佐用町南光自然観察村 参加者:38名(内スタッフ4名) 対 象:市内在住者	それぞれの被災地の子供同士による交流を通じ、協力することの大切さや、「自分で出来ることは自分です」という防災にもつながる自立の気持ちを学習した。
H24.10.13(土) 13:00～17:00	人と防災未来センター見学ツアー	場 所:人と防災未来センター 八ッ神戸 参加者:26名(内スタッフ3名)	高校生以下の子どもたちや新しく西宮市に転入してきた住民の災害に対する意識向上のため、被災状況、展示品を見学した。
H24.12.8(土) 8:45～17:00	「西宮子ども森林体験ツアー」	場 所:ささやまの森公園 参加者:18名(内スタッフ2名) 対象者:市内在住の児童、保護者	森林に触れながら、森の話を聞いたり、ネイチャーゲームや伐採体験を通じ、子どもたちの防災感覚を養うことを目的に実施した。
H25.1.17(木) 9:30～12:30	「1.17 行事被災者交流会」	場 所:西宮市職員会館大ホール 参加者:56名(内スタッフ5名) 対 象:被災者	阪神・淡路大震災、東日本大震災、中越地震、中越沖地震の被災者が集い参加された皆さんと情報共有を行い、かつ交流を広げることを目的として交流会を開催した。
H25.3.2(土) 9:30～13:00	「親子でわがまち探検隊」	場 所:瓦木消防署、高木公園、高木市民館 参加者:70名(内スタッフ2名) 対 象:子供、保護者	自分たちの住む町の公園にある防災倉庫や緊急貯水槽などの防災設備を再確認し、使用方法など実際に体験して、災害発生時に役立つよう防災意識の向上を図るため実施した。
H25.3.17(日) 9:30～12:00	防災講演会及び救命講習	場 所:西宮市民会館 401 中会議室 参加者:15名(内スタッフ2名) 対 象:市内在住者	南海地震への対応について、自分のできる事、地域のできる事などを身に付け、AEDなどによる救命方法を体験することにより、被害を減少させることを目的として実施した。

(6) 関係機関等への啓発(医療、介護系)

延べ開催数： 11回

述べ参加者数： 424人

日時	団体名・参加者数	場所	内容	人数
H24.6.1(金) 14:00~15:00	西宮市社会福祉法人等指導 監査説明会	市民会館	・災害対応マニュアルと避難訓練の啓発 (社会福祉法人及びその他福祉施設に対し統一フォーマットを配布し必要性と効果を説明)	110
H24.6.29(金) 14:30~16:00	西宮市ケアマネジャー協会 介護支援専門員研修	東館	・起こりうる災害と災害時の対応の啓発 (ケアマネジャーが災害時に行うべきことを解説)	57
H24.11.20(火) 10:30~11:40	西宮市社会福祉事業団 居宅介護支援専門員研修	職員会館	・起こりうる災害と災害時の対応の啓発 (ケアマネジャーが災害時に行うべきことを解説)	55
H24.7.19(金) ~ H25.2.14(木) 全7回	訪問看護ステーションネット ワーク西宮 災害対応マニュアル作成ワ ークショップ	東館	・災害対応マニュアル作成ワークショップ(起こりうる 災害に対し必要な対応を話し合い、共通フォーマットによるマニ ュアル作成や継続できる仕組みづくりを支援)	115
H25.3.27(水) 14:00~16:00	メディカルケアネット西宮 勉強会	東館	・起こりうる災害と災害時の対応の啓発 (地域医療や介護、看護に従事する方の災害時にすべきことや注意 点について啓発した)	87

(7) 【出前講座】(学校啓発を含む)

延べ開催数： 53回

述べ参加者数：4,440人

日時	テーマ	対象団体/場所	人数
H24.4.1(日)	東日本大震災と西宮市の今後の取り組みについて	深津地域自主防災会 市民交流センター	45
H24.4.22(日)	西宮市の防災について	西宮市聴力言語障害者協会 総合福祉センター	50
H24.4.24(火)	地震・津波について	宮水学園古社寺会 若竹会館	33
H24.4.24(火)	地震、津波に対しての対策及び避難の仕方	西宮市シルバー人材センター ACTA 東館 6階	75
H24.4.25(水)	自然災害について	平木中学校	300
H24.5.8(火)	自然災害について	あおぞらグループ 武庫川団地24号棟集会室	58
H24.5.12(土)	阪神淡路大震災より学ぶ	段上6丁目A自治会自主防災会 段上公民館	15
H24.6.2(土)	自然災害と地域防災対策	武庫川・池開自主防災会 武庫川ランプ会館	29
H24.6.7(木)	水防関係情報指令の周知徹底	甲子園口東西連合自主防災会 上甲子園センター	66

H24.6.15(金)	自然災害に備えて	鳴尾公民館活動推進委員会	39
H24.6.18(月)	身近な災害と備え	段上町6丁目東自主防災会 日興甲東園スカイマンション	12
H24.6.29(金)	自然災害に備えて	学文公民館活動推進委員会、鳴尾北校区・小松 校区自主防災会 / 学文公民館	79
H24.7.5(木)	自然災害について	安井まちづくり協議会 中市民館	33
H24.7.6(金)	自然災害について	上之町阪急住宅自治会 北瓦木センター	7
H24.7.14(土)	地震・津波について	伏原町自主防災会 高木センター	23
H24.7.18(水)	災害から身を守るために	大社中学校	730
H24.7.20(金)	地震,津波,武庫川決壊した場合などの 対策及び避難の仕方,心の準備	幸和会 甲子園一番町自治会館	35
H24.7.21(土)	自然災害について	二見町町内会 二見町自治会館	17
H24.7.30(月)	地域の防災への取り組み方	西宮市社会福祉協議会鳴尾支部鳴尾北分区 学文公民館	90
H24.8.27(月)	災害について考える	春風エココミュニティ会議 春風小学校	60
H24.9.1(土)	自然災害について	越木岩公民館活動推進委員会	25
H24.9.7(金)	自然災害について	塩瀬公民館活動推進委員会	130
H24.9.13(木)	段上地区の危険と避難について	段上公民館活動推進委員会	17
H24.9.19(水)	自然災害への備え	瓦木公民館活動推進委員会	18
H24.9.27(木)	災害について	西宮市医師会 西宮市健康開発センター	34
H24.10.5(金)	防災・地域住民の減災対策(共助)	浜脇公民館活動推進委員会	63
H24.10.13(土)	地震・津波・大雨に備えて	香櫨園コミュニティ協議会 香櫨園市民館	40
H24.10.17(水)	自然災害について	介護老人保健施設 ふるさとの家	16
H24.10.20(土)	自然災害について	清瀬台自主防災会 清瀬台コミュニティプラザ	35
H24.10.24(水)	地域防災について	南甲子園公民館活動推進委員会	27
H24.10.26(金)	自然災害について	コート甲子園南管理組合 コート甲子園南	30
H24.10.27(土)	外国人のための防災教室	国際交流協会 フレンテ5階・西宮署3階	8
H24.10.30(火)	地震対策	中央公民館活動推進委員会	50



H24.11.3(土)	自然災害について	東山台4丁目東自治会(自主防災会) 東山台コミュニティ会館安心プラザ	15
H24.11.5(月)	くらしと防災	西宮コープ委員会 コープ西宮 集会室	20
H24.11.10(土)	自然災害について	グランスティツ甲子園口管理組合 二見町自治会館	17
H24.11.10(土)	西宮市の津波避難対策と「にしのみや 津波ひなん訓練」	神楽町自治会 安井市民館	12
H24.11.12(月)	災害から身を守るために	瓦木中学校(全校生徒)	900
H24.11.14(水)	「南海トラフ巨大地震」知識を持とう、 備えよう	甲東地区家庭防火クラブ 甲東センター	22
H24.11.16(金)	自然災害について	小松校区自主防災会、鳴尾北校区自主防災会 学文公民館	90
H24.11.17(土)	避難について考える	春風地区自主防災会 春風公民館	42
H24.11.22(火)	災害は突然やってくる!~災害から身 を守るために~	西宮市社会福祉協議会芦原支部 若竹生活文化会館	26
H24.11.24(木)	自然災害と西宮市の対策について	西宮市身体障害者連合会 市民会館 大会議室	150
H24.11.29(木)	災害への対応について	甲陽学院中学校	600
H24.11.30(金)	大災害時に自分の命は自分で守るため の助言	大井手町自治会 夙川公民館	16
H24.12.1(土)	自然災害について	高座台マンション自治会防災会 高座台マンション集会所	21
H24.12.10(月)	西宮浜における津波災害に対する備え と対応	西宮浜産業団地 NICC	30
H24.12.11(火)	同上	同上	24
H24.12.18(火)	津波災害に備えて	宮水学園 東館大ホール	60
H25.2.2(土)	地震と津波について	樋ノ口町、樋ノ口2丁目、堤町防災会 甲武会館	28
H25.2.9(土)	西宮市で想定される災害	武庫川第2一番街管理組合 武庫川第2一番街管理組合集会所	31
H25.2.19(火)	南海トラフ地震から身を守る、津波避 難訓練報告	大社公民館活動推進委員会	24
H25.2.23(土)	豪雨災害と南海地震	仁川町1丁目防災会 一里山さくら会館	23

【その他の講座】

延べ開催数： 4回

延べ参加者数： 195人

日時	テーマ	対象団体 / 場所	人数
H24.4.22(日)	津波災害死ゼロを目指して	西宮夙川ロータリークラブ	50
H24.7.7(土)	津波避難ビルについて	マンション管理基礎セミナー ブレラホール	103
H24.9.27(木)	災害について	西宮市医師会 西宮市健康開発センター	34
H24.10.27(土)	外国人のための防災教室	国際交流協会 フレンテ5階・西宮署3階	8

9. その他

(1) 土のう袋の配布

配布枚数 1,750枚

(防災危機管理局及び各支所にて、年間を通して配布)

以上

. 東日本大震災への対応

## 東日本大震災に対する西宮市の対応について

### 1. 短期派遣

西宮市では東日本大震災発生直後より緊急消防援助隊による救助活動、水道局による給水支援などの活動及び救援物資の運搬を宮城県、岩手県、福島県で行って参りました。

特に、宮城県南三陸町に対しては広報活動の支援や被災した情報システムの再構築など町行政の中枢を補助する業務にも携わってきました。平成 24 年度は主に長期支援にかかる調整等のための派遣です。

#### 短期派遣状況（平成 25 年 4 月 1 日集計）

単位：人）

種別	人日	延べ人数	種別	人日	延べ人数
瓦礫処理等環境対策	8	1	応急給水活動	2 7 3	4 1
ごみ収集支援	3 5 4	4 8	炊き出し支援	4 4	1 1
下水道管調査	1 6	2	被災宅地危険度判定支援	1 2	2
関西広域連合からの派遣	2 3 6	2 4	支援業務調査等	2 7 9	9 1
教育支援	8 4	1 9	医療支援	1 2 9	3 4
広報業務支援	7 8	5	健康相談・避難所支援	3 3 5	4 5
支援物資搬送	6	2	中長期派遣関係	9 8	1 6
住家被害調査	5 2	6	会計処理支援業務	9	3
緊急消防援助隊	9 8 1	1 5 4	その他	2 2	4
情報処理環境構築	5 3	5			
			総 計	3 0 6 9	5 1 3

参考：平成 24 年 4 月 1 日現在、2,908 人日、延べ 468 人

### 2. 長期派遣

兵庫県によるカウンターパート方式による支援体制に参加し、平成 23 年 5 月 21 日に「東日本大震災に係る災害応援活動に関する協定」を締結しました。この協定は西宮市、川西市、宝塚市、猪名川町とともに「兵庫県阪神支援チーム」を設置し、現地の登米市・栗原市とともに女川町及び南三陸町へ長期派遣による支援を行うものです。

平成 25 年 4 月 1 日現在、西宮市からは女川町へ 5 人、南三陸町へ 5 人を復興計画業務等で派遣しております。



女川町への派遣状況（平成 25 年 4 月 1 日現在、5 人）

職種	役職	職務内容	派遣期間
建築職	係長	公共施設復興管理等業務	平 23.07.01 ~ 平 23.10.31
土木職	復興調整係長	復興に係る企画・立案・総合調整、国・県との連絡調整業務	平 23.08.01 ~ 平 23.11.30
	技術参事	復興事業の総合的な調整、進捗の管理等	平 23.12.01 ~ 平 24.03.31
電気職	震災廃棄物対策係長	震災廃棄物に係る処理計画、国・県との連絡調整業務	平 24.04.01 ~ 平 25.03.31
電気職	震災廃棄物対策係長	震災廃棄物に係る処理計画、国・県との連絡調整業務	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31
建築職	建築係長	公共施設復興管理等業務	平 23.08.01 ~ 平 23.09.30
電気職	震災廃棄物対策係長	震災廃棄物に係る処理計画、国・県との連絡調整業務	平 23.10.01 ~ 平 23.11.30
建築職	建築係長	公共施設復興管理等業務	平 23.12.01 ~ 平 23.12.20
機械職	震災廃棄物対策係長	震災廃棄物に係る処理計画、国・県との連絡調整業務	平 23.11.01 ~ 平 24.03.31
土木職	技師	都市計画、土地区画整理事業等	平 24.01.10 ~ 平 24.03.31
土木職	技師	都市計画、土地区画整理事業等	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
			平 24.10.01 ~ 平 25.03.31
建築職	建築係長	公共施設復興管理等業務	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
事務職	主事	都市計画、土地区画整理事業等	平 24.04.01 ~ 平 25.03.31
	主査	用地取得、測量業務等	平 25.04.01 ~ 平 25.09.30
建築職	建築係長	公共施設復興管理等業務	平 24.10.01 ~ 平 25.03.31
建築職	技術主査	公共施設復興管理等業務	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
土木職	技師	都市計画、土地区画整理事業等	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31
事務職	主査	固定資産の評価、賦課業務等	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31

南三陸町への派遣状況（平成25年4月1日現在5人）

職種	役職	職務内容	派遣期間
土木職	技術参事	震災復興計画策定業務	平 23.06.01 ~ 平 23.09.30
		復興計画の事業化に向けた業務	平 23.10.01 ~ 平 24.03.31
	技術参事兼課長補佐	復興計画の事業化に向けた業務	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
土木職	技師	復興計画の事業化に向けた業務	平 23.10.01 ~ 平 24.03.31
土木職	技師参事	復興事業に関する業務	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
			平 24.10.01 ~ 平 24.12.31
土木職	技師	復興事業に関する業務	平 24.04.01 ~ 平 24.09.30
事務職	主査	用地関係業務	平 24.04.01 ~ 平 25.03.31
	主査	用地に関する業務	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31
土木職	技師参事	復興事業に関する業務	平 24.10.01 ~ 平 25.03.31
土木職	技師	復興事業に関する業務	平 24.10.01 ~ 平 25.03.31
事務職	主事	災害公営住宅の整備に関する業務	平 24.11.01 ~ 平 25.03.31
土木職	技師	復興事業に関する業務	平 25.01.01 ~ 平 25.03.31
	技術主査	防災集団移転促進事業に関する業務	平 25.04.01 ~ 平 25.06.30
土木職	技術参事兼復興拠点整備係長事務取扱	土地区画整理事業に関する業務	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31
土木職	技術主査	土地区画整理事業に関する業務	平 25.04.01 ~ 平 25.09.30
事務職	主事	復興まちづくりに関する事業認可関係業務	平 25.04.01 ~ 平 26.03.31

ハッチング部は派遣が終了している職員

### 3. 西宮市への避難者に対する取り組み

#### (1) 西宮市に避難されている方(登録者数)

49 46世帯 115 107名 (H24.4.17 H25.4.1 現在)

出身地別： 福島県 27、宮城県 10、千葉県 6、岩手県 1、茨城県 1、神奈川県 1

#### (2) 市が主体的に行っていること

- ・ 郵送による定期的な情報の提供(第2,4金曜日)
- ・ 市民から供出された生活物資の提供など
- ・ 市営住宅の新規入居は12/28終了。家賃免除は継続
- ・ 幼稚園・保育所は罹災証明で保育料等の免除や奨励金の制度あり

このほかに、局ごとに避難者の生活に配慮した支援策を継続。

#### (3) 外部機関に協力していること

- ・ 関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、日本災害救援ボランティアネットワークが共同で避難者の支援を行っている「KSNプロジェクト」の会議に市の調整窓口として防災計画総務課が出席。

### 4. 義援金

平成25年4月1日現在、22,202,610円

【議案第1号】

・【議案第1号】平成25年度地域防災計画及び水防計画 修正(案)



## 【議案第1号】平成25年度地域防災計画及び水防計画 修正要旨

### 1. 修正の方針

現在、南海トラフ巨大地震における浸水区域や被害の想定見直しを兵庫県が進めており、西宮市では今年度、兵庫県が先に示している直下型地震の新しい被害想定と津波の新しい被害想定に応じた対策の見直しを行います。このため、平成25年度の地域防災計画では、昨年度進めてきた事業の反映ほか、軽微な変更にとどめることとし、来年度に新しい想定に基づく改定を行うこととします。

### 2. 主な修正点

#### 南海トラフ巨大地震に関する検討の動向に関する記述の時点修正

東日本大震災以降に進められている内閣府や県、市の検討状況についての記述について、昨年度に進められた内容を追加します。

#### マンホールトイレの整備

学校の建替え等に伴いマンホールトイレの整備を行う際は、イベント時の活用等を配慮した仕様とすることを記載します。

#### その他

軽微な修正（名称及び組織名等の修正、数量・数字の時点修正、表現の変更等）を行っております。

【議案第2号】

・【議案第2号】東南海・南海地震対策(案)

(南海トラフ巨大地震対策の経過と進捗について)

## 1. これまでの取り組み

西宮市は H23.4 月以降、津波避難について「より早く、より遠く、より高く」をキャッチフレーズに早期避難を呼びかけてきたが、公共による一時避難先（いわゆる津波避難ビル）の指定をしていなかったことから、津波避難ビルの指定をプロジェクトチームで進め、H25.4.1 現在、221 施設 360 棟、収容人数約 242,900 人を確保した。プロジェクトチームは H24.9.30 に解散したが、引き続き防災危機管理局で業務を続けている。

今後は、未回答物件のうち規模の大きいものについて引き続き依頼を行う。また回答待ちなどの物件、新規開発物件の調整が継続する。併せて看板設置と簡易トイレの配布も付随し継続する。なお、津波避難ビルの指定促進は、まちづくり条例にも反映させる。

また、阪神間防災連絡会では広域避難が懸念されることから検討を始めることとし、県とも協議の結果、阪神南県民局を主体とする東南海・南海地震対策阪神南地域推進協議会のもと、阪神北県民局及び管内市町も参加した「阪神地域広域避難計画研究会」を立ち上げ、取り組みを始めた。

## 2. 内閣府の想定について

H24.3.31 に国は第一次報告を発表、50m メッシュの粗いものであるが西宮市の津波高は 3.8m と示された。この後、10m メッシュのより詳細な解析を行い、H24.8.29 に第二次想定を発表した。この中で西宮市は震度 6 弱、津波高は 5m とした。

経済被害想定については H25.3.19 に公表され、インフラ等への影響が示された。

## 3. 兵庫県の想定について

国の想定が進められている中、兵庫県は H24.8 から地盤の状況などをより詳細に見込んだ解析を開始した。解析は地震の影響で堤防の倒壊により効果が全くないとした場合（無堤）と、液状化による地盤沈下の影響が見込まれながらも堤防を考慮、しかし越流すると破堤するという場合（有堤）の 2 つについて、国が示した 11 のパターンにより解析を進めている。県はこれらの結果を H25 夏以降に公表する見込みで、阪神地域は淡路地域に続いて示される予定である。また市町ごとの人的被害や経済損失については H25 年度末を目標に進めることとしているが、防災会議の専門委員会で検討することとされており、市は陪席し適宜情報の収集に努める。

## 4. 西宮市の方針

市の地域防災計画は県の地域防災計画と整合する必要がある。しかし県が全て示してからでは後手に回るため、併行して作業を進める。

また、広域避難計画については、とりまとめを担う県民局に一任せず、引き続き近隣市と連携しながら、県庁とも協議をしながら進める。

受援計画についても県が統一的な方向をまとめた意思と利害が一致するため、神戸市、尼崎市、芦屋市と共同・分担の上作業を進める。

## 5. 今年度行うこと

避難者数、避難先、備蓄の配分と内容、避難誘導、避難路、広域避難対策、受援体制などについて、計画の見直しを進める。また東日本大震災以前に兵庫県下の直下型想定の見直しがまとまっていることから今回の作業はこれを含め、両方に対応可能な内容、量とすることを目指す。

作業は、直下型想定から着手し、県の想定が出たらそれをもとに避難区域を確認し、前述の課題を整理し地域防災計画に反映する。避難者数等は広域避難計画や県の検討結果との整合を図れるよう調整しながら算出する。

【報告第4号】

. 平成25年度防災関係業務・行事一覧

## 1 平成 25 年度 防災年間主要行事

行事名	日時	場所
災害対策本部 総括部担当者会議	H25.4.24(水) 13:30～16:00	東館 8 階 大ホール
危機管理推進会議	H25.5.7(火) 政策調整会議後～	本庁 442 会議室
防災会議及び 国民保護協議会 幹事会	H25.5.13(月) 13:30～16:00	本庁 813 会議室
防災会議及び 国民保護協議会 委員会	H25.5.27(月) 13:30～16:00	本庁 813 会議室
防災講演会	H25.6.8(土) 10:30～12:00	山口ホール
総合防災訓練 ( 阪神広域訓練 )	H25.11.12(火) 10:00～17:00	中央体育館他
土砂災害避難訓練	H25.8～H26.3	塩瀬・山口地域( 予定 )

## 2 災対局別防災訓練・防災研修

期間：H26.1.17(金)

内容：各災対局において、防災に関する訓練ないし研修を計画・実施。

## 3 その他

- ( 1 ) 緊急情報伝達訓練 : 全職員・H25.5.15(水)
- ( 2 ) 応急対策室設置訓練 : 応急対策室 市民窓口要員・H25.5.17(金)
- ( 3 ) 水防工法訓練 : 都市局・土木局及び防災危機管理局・H25.5.23(木)
- ( 4 ) 人命救助研修 : 新入職員必須研修・H26.2月下旬
- ( 5 ) 災害対策本部設置訓練 : 本部員・日時未定
- ( 6 ) 緊急参集訓練 : 動員対象者未定・日時未定